

# 中型動物（子牛・豚）を対象とした 機動性と機能性に富む手術台の開発

伊東 正吾 准教授 麻布大学 獣医学部 獣医学科 内科学第一研究室  
Seigo Itoh / Associate Prof. AZABU University, Department of Veterinary Medicine I, School of Veterinary Medicine

佐藤 礼一郎 講師 麻布大学 獣医学部 獣医学科 内科学第三研究室  
Reiichiro Sato / Assistant Prof. AZABU University, Department of Veterinary Medicine III, School of Veterinary Medicine

## 背景と目的

ウシ（子牛、育成牛）やブタ（子豚～経産豚）を対象とした、機動性と機能性に富み、生産現場でも利用できる市販の手術台（保定装置）は、殆んど見当たらない。

子牛の臍部手術は、床や軽トラックの荷台上で実施することが多く、豚では、胚移植の処置等で利用可能な保定装置が少ない。



これらに対応可能な手術台を製作する



## 【基本構想】

《動物と術者双方に安全かつ衛生的に処置が可能》

- 機動性（可搬式）：軽トラックやバンの荷台に積載可能  
全長 147 cm 高さ 38～101 cm 重量 95 kg 耐荷重 500 kg
- 機能性：パンタグラフ式昇降  
側板角度2段階（45°、60°）四肢保定ステー（上下）  
サブテーブルと連結可能

## 特 性

- 四肢の保定方向を上下に選択できるため、術者の動作を妨げない。
- 側板角度が2段階に設定可能
- 動物の大きさに応じサブテーブルで長さを調節可能

## 期待できる効果

- 生産現場において、衛生的かつ術者は少ない負担で施術できる。
- 保温装置の併用で、術中の出血量の低減や、スムーズな麻酔回復が見込める。



使用例



特許出願中：特願2015-104605